

道立高等学校長庁内公募（中間・**期末**）報告

学校（所属）名	職名	氏名	年齢	公募校長としての着任年月日
北海道浦河高等学校	校長	齊藤雄大	56	令和4年4月1日

## 1 これまで取り組んできた改革

地域の学校に通いながら進学・就職の希望を確実に実現  
【つなぐ・つながる・広がる】 【元気・やる気・本気】

- (1) 浦河町及び様似町の小中学校（5小・4中）との連携強化による地域でつなぐ人づくり
  - ・地元の中学生の本校への進学率85%以上 ※令和3年度約72%→令和4年度約76%
- (2) 地域の教育資源とつながる体験活動の推進
  - ・生徒の満足度90%以上 ※令和3年度約94%→令和4年度90.3%
- (3) 個別最適化による未来に広がる進路実現
  - ・国公立大学進学者20人以上 ※令和3年度14人→令和4年度13人
- (4) 働き方改革を意識した業務体制
  - ・年間をとおし、時間外在校平均時間45時間を超える教員を30%以下  
※令和3年度約46%→令和4年度約46%（31名中15名）

## 2 進捗状況及び成果

- (1) 浦河町及び様似町の小中学校（5小・4中）との連携強化による地域でつなぐ人づくり
  - ア 中学生だけではなく、保護者に対する学校説明会の実施
    - ・浦河町（3つ）及び様似町（1つ）の中学校で実施
  - イ 生徒が主体となった学校パンフレット（URACO）の作成
    - ・オープンスクール参加者（中学生163名・保護者38名）や町の施設等に配付
  - ウ 地域の小中学校の管理職及び教員との交流
    - ・校長は月一度の浦河町校長会に参加、教頭は7月より教頭会に参加し、情報共有を図ったが、教員同士の交流は数回程度となってしまった。
- (2) 地域の教育資源とつながる体験活動の推進
  - ア 地域防災マスター（3年次7名）による小学校の避難訓練の講師【資料1】
    - ・8月25日に浦河小学校一日防災学校の講師として講話
  - イ 地場産商品開発における地域との連携【資料2】
    - ・地元の食材を使用し、「うらかわ優駿ビレッジAERU」と連携した商品開発（商品名：つぶめし）  
→ 浦河町のホテルにて販売、浦河町のふるさと納税返礼品となった。
  - ウ 地域と連携した事業及び各種事業とボランティア活動の参加【資料3】
- (3) 個別最適化による未来に広がる進路実現
  - ア 単元配列表の活用
  - イ Classi（教育プラットフォーム）を有効活用した学習の記録
- (4) 働き方改革を意識した業務体制【資料4】
  - ア 7月の職員会議よりペーパーレス化
    - ・印刷作業の廃止により業務時間縮減
  - イ 業務の精選等、年度当初に部長・主任としたコアチームを結成
    - ・少しずつ精選されてきているが、大幅な超過勤務時間の縮減とはなっていない。

### 3 課題及び解決に向けた方策

#### (1) 課題

- ア ICTを活用した授業改善と個別指導
- イ 業務の効率化
- ウ 働き方改革への意識
- エ 教員の経験不足（令和5年度は若年層が増加）

#### (2) 方策

- ア 外部ICT教材の有効活用及び複数回の校内研修の実施
- イ コアチームによる改革の評価と改善
- ウ 管理職による複数回の面談における業務状況の把握及び指導助言
- エ 課題の共有と解決に向けた協働体制の確立及び日々の教員同士の積極的なコミュニケーション

### 4 成果と課題を踏まえた今後の取組予定

#### (1) 地域とのつながりを重視した取組の継続・発展

- ア 地域との小中学校の連携強化
  - ・生徒会が中心となった情報発信と小中学校との交流
- イ 生徒が主体となった地域発信の増強
  - ・生徒が主体となった学校パンフレットの作成やオープンスクールの実施の継続
- ウ 地域の教育資源とつながる体験活動及び探究活動の推進
  - ・浦高生ふるさと応援等の活動による地域の活性化
  - ・地域における体験活動及びボランティア活動の継続・発展
  - ・地域人材の有効活用（自治体・観光協会等）

#### (2) 個別最適化による進路実現

- ア キャリア教育の充実【資料5】
- イ ICTの利活用による授業改善と個別指導の充実
  - ・ICTを有効活用するための研修会の実施
- ウ 探究学習の充実
  - ・「総合的な探究の時間」だけでなく、各教科の授業における探究学習の確立
- エ コアルーブリックによる学びの進捗状況の把握及びその状況の教員の共有【資料6】
- オ 大学への訪問及び大学生との積極的な交流

#### (3) 働き方改革の推進

- ア 各分掌等の業務内容の見直し等の継続
- イ 個人による月一度の定時退勤日の設定
  - ・朝の連絡票に掲載し、全教職員で共有
- ウ 若年層教員に対する指導助言

令和5年度のスローガン


「Well-being」 ～生徒の「Well-being」×学校（教職員）の「Well-being」～

地域防災マスター(3年次7名)による浦河小学校1日防災学校の講話

1

浦河町立浦河小学校の皆さん

小学生が避難所で出来ること



北海道浦河高等学校

2

段ボールベッドを組み立てよう!



北海道浦河高等学校

3

何で、段ボールベッド?



北海道浦河高等学校

4

何で、段ボールベッド?




北海道浦河高等学校

5

段ボールベッドの良いところ

- ①空気の層で出来ているので暖かい
- ②余震の揺れや歩行者の振動を伝えにくい
- ③いびきや咳などの騒音も和らげてくれる



北海道浦河高等学校

6

段ボールベッドを組み立てよう!

北海道浦河高等学校

7

避難所とは

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設のこと




北海道浦河高等学校

8

避難所には

災害により、家が壊れたり、家族とはぐれた人や高齢者、乳幼児など配慮が必要な人が避難してきます。

災害発生当初は、支援物資などが十分ではなく、不自由な生活が余儀なくされます。



北海道浦河高等学校

## 9

### 避難所の様子



10

北海道浦河高等学校

## 10

### 避難場所などのマーク



**避難場所**…学校のグラウンドや公園、広場など屋外を含めた場所を指定

**避難所**…一時的に滞在する難所として地域の会館、小学校や町の体育館などを指定

**津波避難所**…津波浸水地域外の高台の広場などを指定

**津波避難ビル**…近くに高台がない場合など、やむを得ず一時避難する建物などを指定

11

北海道浦河高等学校

## 11

### 小学生の避難所での役割 食事の分配や避難所内の清掃



12

北海道浦河高等学校

## 12

### 小学生の避難所での役割 支援物資の運搬や配布



13

北海道浦河高等学校

## 13

### 小学生の避難所での役割 少なくとも自分のワガママで

**周囲に迷惑をかけないこと**

それだけは、みんなで守りましょう！

14

北海道浦河高等学校

## 14

御清聴ありがとうございました。

15

北海道浦河高等学校

## 地場産商品開発（つぶめし；課題研究3年次15班）

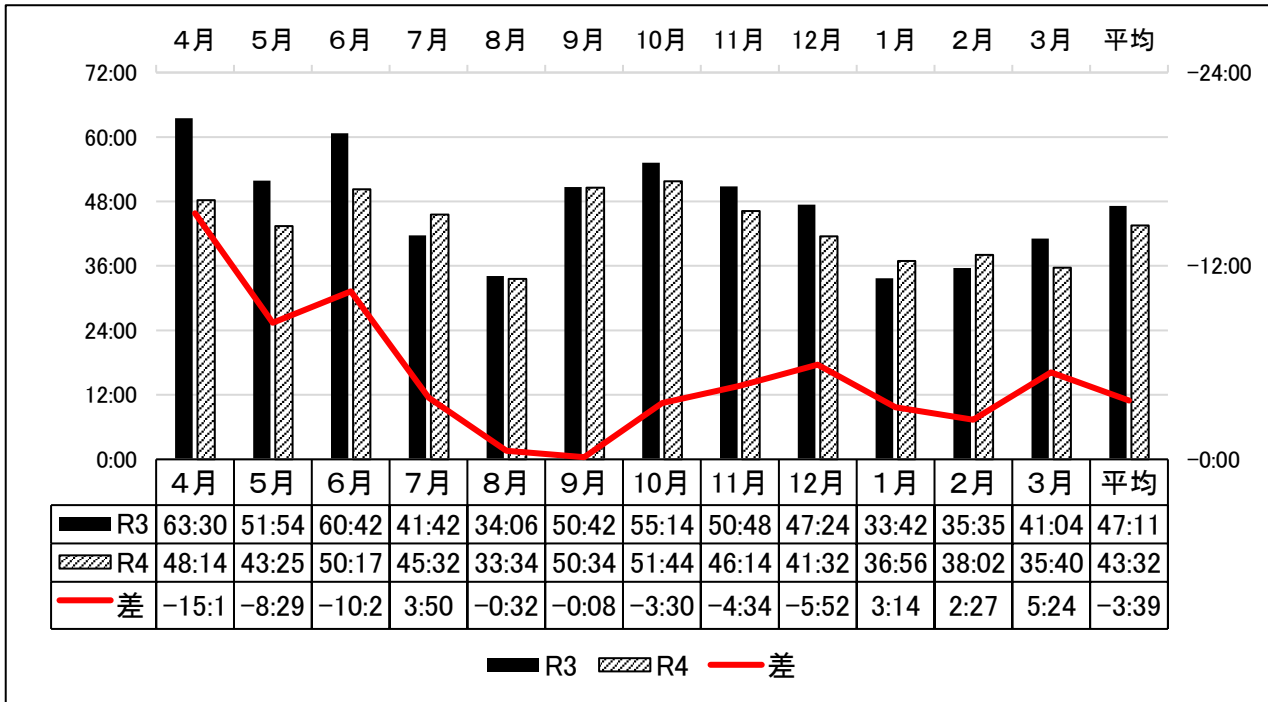


## 令和4年度 主な地域連携事業・校外活動・ボランティア活動

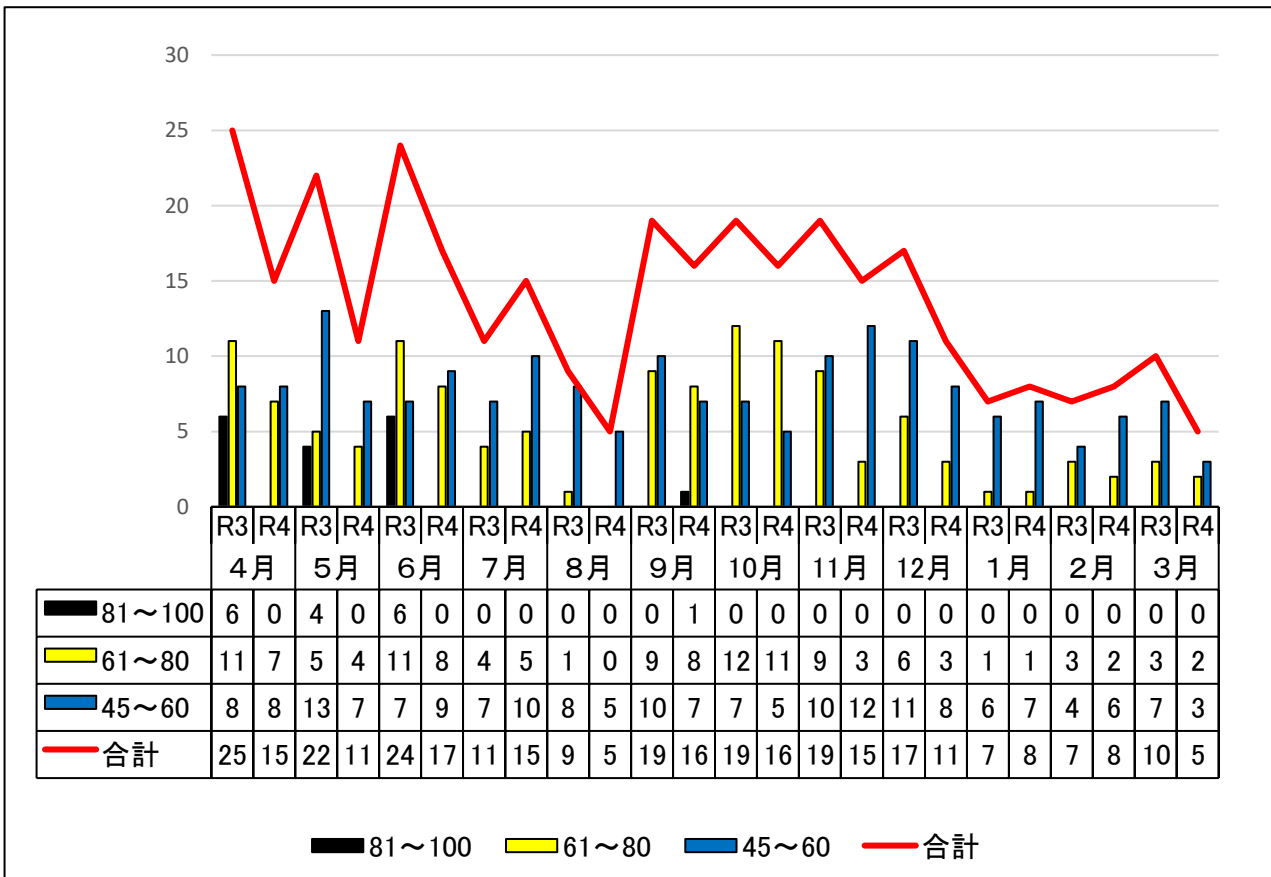
	活動名(組織)	活動内容等
地域 (浦河町・様似町)	浦高生ふるさと応援隊	「浦河の魅力発信する」というコンセプトのもと、地域の活性化に取り組む活動
	地域の魅力発信プロジェクト	特産品の販売をとおり、浦河町と道外地域との交流を図るプロジェクト
	浦河警察署魅力発見&地域安全ボランティア	浦河警察署のPRポスターまたは業務紹介リーフレットの作成(取材含) 小学校及び老人会を対象とする防犯教室ボランティア
	浦河小学校冬休み学習サポート	冬季休業中において、浦河小の児童に対する学習サポート
	様似町チャレンジ学習	冬季休業中において、様似町の小4から中3までの児童生徒に対する学習サポート
	アドベンチャーinうらら湖	浦河町の小学生と保護者対象にダム見学・釣り大会・川遊び等の体験活動のサポート
	わらしべ園クリスマス会	浦河町の施設における障がい者支援体験
	選挙啓発ボランティア	3年次による浦河町の街頭での選挙啓発グッズの配布
	オレンジカフェ	浦河町のまちなか元気ステーションで実施されるオレンジカフェのスタッフ、レクリエーションスタッフ、町民とのふれあい活動
	夢の国幼稚園シニアリーダー事業	保育園児「預かり保育の幼稚園児」「学童保育」の子どもたちと園の生活を体験
	地域医療を支える人づくりプロジェクト事業	地域医療に携わる方による講演と医療機関見学、病院職員との座談会
	東大生と交流事業(1回目) (様似町地域おこし協力隊事業)	東大生より効率的な学習方法や難関大学攻略についての学習指導と交流
東大生と交流事業(2回目) (様似町地域おこし協力隊事業)	東大生と5年後の自分についての哲学対話(ワークショップ)	
全道	JICA北海道との連携事業	JICA北海道によるインド現地に関する写真展示 本校写真部による地元で就労するインド人に関する写真展示
	「北海道高校生防災カフェ」	高校生が防災・減災について主体的に考え、地震、津波などの自然災害に対するコロナ禍での防災・減災に関する取組などについての交流
全国	広域地域連携活動 (高知県佐川高校と斜里高校と連携)	小規模総合学科魅力化推進事業の一環 他校の生徒との意見交換を通じ、地域振興の方策等についての協議 高校生と地域の方と共に地域振興を担っていく協働意識の醸成
	全国高校生まちづくりサミット2022 inのむら(愛媛県で開催)	全国の高校生と防災・減災についての学びや、成人年齢が18歳に引き下げられたことに対する意見交流
	「世界津波の日」2022高校生サミット in 新潟	津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場

## 働き方改革に係る令和3年度との比較

### 1 教育職の時間外在校等平均時間



### 2 教育職の月別時間外在校等時間度数分布



### 校訓 「自主」「敬愛」「努力」（目指す生徒像）の実現

#### 本校生徒の課題

広い視野と、もう一歩先へ  
(one more step) と自らを高  
めようとする意思と決断力

## 学校教育目標

物事をよく見て理解し、自ら考え正しく判断するとともに、主体的・協働的に探究し行動することができる生徒。

＜必要な資質・能力＞①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力（発信力） ③主体性

■何を理解しているか、何ができるか（基礎学力の確実な習得を基にした、社会の様々な場面で活用できる体系化された知識・技能）

■理解していること・できることをどう使うか（課題発見・解決へのプロセスの主体的選択・新しい価値の創造）

自他の人権や生命を敬い尊重する精神を持ち、多様性を認め合いよりよい人間関係を形成することができる生徒。

＜必要な資質・能力＞④想像力 ⑤協働性（対話力） ⑥社会性（エンパワーメント思考）

■どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（多様性を尊重する態度、互いの良さを生かして協働する力、リーダーシップ、感性、責任感、思いやり等）

望ましい自己実現のため不断に資質・能力の向上に努め、豊かな地域づくりに参画しようとする意欲を持つ生徒。

＜必要な資質・能力＞⑦自律的活動力 ⑧自己効力感 ⑨実行力・継続力

■どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（自己の感情や行動を統制する能力、主体的に学習等に取り組む態度、持続可能な社会づくりに向けた姿勢、生涯に渡る学びの継続への意志） 自己肯定感も加えて プレゼンカ

## カリキュラムポリシー

本校キャリア教育の目標 **学ぶことと自己の将来との繋がりを見通し、主体的に社会に参画することで、豊かなキャリア観を身につける（R4～）**

本校キャリア教育の重点（土台）

**自助(Self-help)** 【自分が何を求めるか】 校訓「自主」「努力」の一つの在り方

**共助(Mutual-help)** 【人に何を与えるか】 校訓「敬愛」の一つの在り方

マイクロー・インサージョンの手法で

→日々の授業に探究とキャリア教育の視点

ICTの積極活用

＜主体的・対話的で深い学び＞

＜デジタル・シティズンシップ教育の推進＞

## キャリア教育

## 手法

地域素材・人材の活用を通じて（浦河町・日高管内・北海道を活かす）

→【世界に誇れる北海道人の育成を目指して】

## 地域に開かれた教育課程

○防災・減災に係る資質・能力の向上

・地域と連携した避難（防災）訓練・避難所体験・地域防災リーダーの育成

○幼・小・中・高連携による相互の資質・能力の向上（キャリアパスポートの活用）

・外国語活動、外国語学習に係る支援 ・長期休業中の学習支援

・地域のスポーツ指導支援 ・ICT 機器活用や探究学習に関する支援 など

○地域課題に資する資質・能力の向上

・地域創生（活性）等のための取組（企画及び運営）

・国際理解（外国人移住者に対する支援等）

・地域の重点的取組への参画 ・地域資源（ジオパークなど）の調査・活用

・地域ボランティアへの参加 ・生産、加工、販売に係る体験

○主権者教育、消費者教育の充実（18才成年を踏まえて）

・選管や法務局との連携による啓発、体験活動、法教育等の充実

・権利・義務の主体として能動的に行動することの意義→公の幸福に資する

教科科目・行事等横断的に育む取組

○体験活動を重視し、自他を支える知恵（生きて働く知識・技能）の習得

○主体的・対話的で深い学びの実践（探究的視点を重視）

○ICTの活用による情報活用能力の向上（デジタル・シティズンシップの視点）

○教科・科目で横断的・体系的な教育課程が編成されるよう単元配列表の作成

→シラバスに記載

○全ての教科・科目、行事などに、目標を設定→教科・科目はシラバスに記載

・目指す生徒像の実現に向けて、どんな資質・能力を身に付けさせるのか

・どのような素材や場面を通して身に付けさせるのか

・どのレベルで、何ができるようになるまで、身に付けさせるのか（具体的な生徒の姿をコアルーブリックで評価）

包括連携協定の活用、支援推進協議会の支援

### キャリア教育で求められる基礎的・汎用的能力

#### 人間関係・社会形成能力

#### 学校教育目標との関連

(1) 多様な考え、価値観を理解し、相手の考えを尊重した上で →①②④

自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。

(2) 自分の置かれている状況を理解し、それを受け止めた行動 →⑥⑦⑨

を行うことができる。

(3) 積極的に社会に参画する力。 →③⑤⑧

(4) 多様な他者と力を合わせ、社会の中で自己の役割を果たす →⑤⑥⑨

ことができる。

#### 自己理解・自己管理能力

(5) 自分の能力や可能性について客観的かつ肯定的に理解する →⑦⑧

ことができる。

(6) 社会の要望や状況に応じ、自らの思考や感情を律すること →②⑥⑦

ができる。

#### 課題対応能力

(7) 日々直面する様々な課題を発見し、それを克服する方法を →①②⑨

分析、計画的にそれを実行し、試行錯誤しながらも解決に

導くことができる。

#### キャリアプランニング能力

(8) 多様な生き方に関する様々な情報（仕事、学校、進路決定 →①②

の方法、社会情勢、労働観、求められる資質など）を収集

することができる。

(9) 収集した情報を適切に取舍選択・活用しながら、自ら主体的 →②③⑨

に判断して自分の生き方を選択していくことができる。

(10) 自分で行った選択を社会環境などに応じ、適切に軌道修正 →②③④⑥⑦

することができる。

体験を通じて、**繋ぐ力・繋げる力・繋がる力**を育成

## 評価

目指す生徒像の総合評価場面＝課題研究の取組、成果で

コアルーブリックの活用（本校の目指す生徒像実現に向けた資質・能力9項目をルーブリックで評価）

○1年「産業社会と人間」→2年「課題研究」（総合的な探究の時間）→3年「課題研究」（総合的な探究の時間）

○目指す生徒像を踏まえたねらいの明確化→評価の観点、評価場面、評価方法の改善

○目指す生徒像実現に向けたカリキュラムマネジメント→学校行事等を含め総合的に評価を実施

○課題研究＝探究型、活用型、継続型の学習を深化→責任ある提案・活動へ

＜社会的価値のあるテーマ設定+地域課題等の解決に資する成果+国際的視野の涵養＞

教科・科目、総合的な探究の時間・  
行事・部活動も含めた広義の教育課  
程における自己評価へ位置づけ

キャリア教育を推進する組織構成

校務運営委員会 — **キャリアガイダンス部**

各分掌・年次などと連携し、目指す生徒像実現に向けて、キャリア教育を推進・コーディネート

### キャリア教育改善の視点

○全体計画を3年ごとに見直し・改善

○コアルーブリックは単年度ごとに見直し改善を図る

○体系的・横断的教育課程のコーディネート など

教務部

○生徒の主体性育成に係るコーディネート など

生徒指導部

○自己理解、社会・職業理解に係るコーディネート など

進路指導部

○3年間を見通したキャリア教育の実施  
○「産社」→「課題研究1」→「課題研究2」の評価を基に、年次に応じたキャリア教育の指導 など

1・2・3年次



## 令和5年度 北海道浦河高等学校 コアルーブリック(浦高ルーブリック)

校訓	評価する能力	ルーブリック(評価指標)				育成を目指す資質能力3つの柱
		4	3	2	1	
自主	知識・技能	知識・技能を統合・比較し、新しい知識・技能を築ける。	知識・技能を統合・比較ができる。	知識・技能を身につけている。	知識・技能を身につけようとしている。	「知識及び技能」
	思考力・判断力・表現力(発信力)	自分の考えをまとめ、他の考えとの共通点や相違点等を他者に分かりやすく表現できる。	自分の考えをまとめ、適切に表現できる。	自分の考えをまとめられる。	自分の考えをまとめようとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	主体性	変化を起こすために自分で目標を設定し、責任を持って行動し、振り返り、次の行動に繋げている。	変化を起こすために自分で目標を設定し、責任を持って行動している。	変化を起こすために自分で目標を設定し、行動している。	変化を起こすために自分で目標を設定し、行動しようとしている。	学びに向かう力、人間性
敬愛	想像力	経験や常識とつなげながら、筋道立てて予想ができたり結論を導き出したりすることができる。	筋道立てて予想ができたり結論を導き出したりすることができる。	知識や経験をもとに見通しをもつことができる。	勘や当て推量を越えようとしている。	「知識及び技能」
	協働性(対話力)	自分の役割や責任を理解し、他者との協働や交流を通じて、リーダーシップやメンバーシップを発揮しながら行動できる。	自分の役割や責任を理解し、他者と協働的に行動できる。	自分の役割や責任を理解し、行動できる。	自分の役割や責任を理解しようとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	社会性(エンパワーメント思考)	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会を理解し、行動することができる。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいる多様な社会について、理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解している。	自分と異なった考え方や行動をする人たちがいることを理解しようとしている。	学びに向かう力、人間性
努力	自律的活動力	心身を安定させ、自分自身を律するとともに他者の尊厳を尊重した行動ができる。	心身を安定させ、自分自身を律するとともに他者の尊厳について理解している。	心身を安定させ、自分自身を律している。	心身を安定させようとしている。	「知識及び技能」
	自己効力感	自分の意見や行動が周囲に貢献したという実感を持ち、自信を持って取り組める。	自分の意見や行動に自信と根拠を持って取り組める。	自分に自信を持っている。	自分に自信を持とうとしている。	「思考力・判断力・表現力など」
	実行力・継続力	自分の定めた目標の実現に向けて、継続的に行動している。	自分の定めた目標の実現に向けて努力し、行動している。	自分の定めた目標の実現に向けて、努力している。	自分の定めた目標の実現に向けて、努力しようとしている。	学びに向かう力、人間性